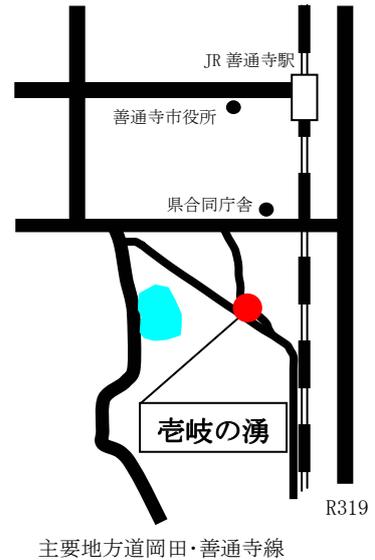


壱岐の湧 (いきのゆう)

位置図



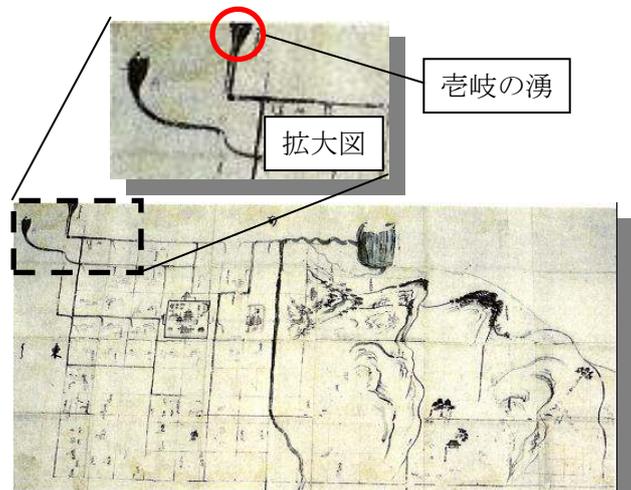
善通寺市周辺には出水・湧と呼ばれる 80 ヶ所以上の清水があり、農業用水の補給水や生活用水、また地域住民の社交場として周辺の人々により今まで大切に守られてきました。

その中のひとつで、善通寺市東部に位置する生野町の「壱岐の湧」は、善通寺所蔵の国指定重要文化財「善通寺伽藍并寺領絵図ぜんつうじがらんならびじりょうえず」に描かれています。この絵図は徳治 2 年（1307 年）、鎌倉時代に善通寺領新田開発のために描かれたもので、周辺の田畑を潤すだけでなく善通寺領の大切な水源であったことがわかります。

「壱岐の湧」は、農業用水の水源としての役割以外にも持っている水資源の涵養や防火用水、人々に安らぎを与えるなどの多面的機能を発揮するため、平成 14 年度から農村振興総合整備事業により地域の人々に親しまれる身近な親水施設として整備されました。その後、地域の大切な集まりの場としてお祭りを開催したり、地域の人々が散策の折には、よどみない清水を泳ぐ魚を觀賞することができるなど、地域住民に憩いを与え続けています。この出水は、現在も脈々と湧き出ており、今も変わらず地域の人々に大切にされています。



壱岐の湧 (水辺祭り)



善通寺伽藍并寺領絵図 (善通寺蔵)